

JABMEE CPD

「CPD情報システム」ご利用についてのQ & A

ログインのユーザーID、パスワードが分からない。	・・・1
CPD 情報システムの操作マニュアルを確認したい。	・・・2
当協会会誌「建築設備士」の購読はどのように入力すればいいのですか。	・・・3
他団体の機関誌の購読等はどのように入力すればいいのですか。	・・・4
講習会や見学会はどのように入力すればいいのですか。	・・・5
委員会活動はどのように入力すればいいのですか。	・・・6
講師はどのように入力すればいいのですか。	・・・7
認定プログラムを受講した場合の実績申請はどのようにすればいいですか。	・・・8
JABMEE CPD の取得単位数を知りたいのですが、どこで確認できますか。	・・・8
CPD の実績証明書の発行手続きについて知りたい。	・・・9

一般社団法人 建築設備技術者協会(JABMEE)

東京都港区赤坂 2-21-3 レドンドビル 5F

電話 03-5408-0063 info@jabmee.or.jp

ログイン

Q. ログインのユーザーID、パスワードが分からない。

A. 当協会にお問い合わせいただくか、または、操作マニュアル「ログインパスワードを忘れたとき」(次頁参照)に従って設定して下さい。

(ユーザーIDは、JABMEE CPD参加証カードに記載されている「CPD ID」になります。)

CPD 情報システム URL : https://jaeic-cpd.jp/login_user.php

CPD 情報システム

参加者用

CPD情報システムログイン

ログインを行います。
参加には、登録が必要となります。
ログインパスワードを忘れた方は、[こちらで変更](#)してください。

建築士会CPD制度会員で初めてご利用される方は、こちらから[参加登録](#)をしてください。

[参加登録](#)
[参加登録の手順を見る](#)

建設施工管理CPD制度を初めてご利用される方は、こちらから[参加登録](#)をしてください。

[参加登録](#)
[参加登録の手順を見る](#)

※JIA会員の方は登録の必要はありません

ログインが必要です

ユーザーIDとパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックしてください。

ユーザーID

※建築士会のユーザーIDは、CPD番号を入力してください。
※JIA会員のユーザーIDは、以下のとおりです。
一級建築士資格を保有している方は「一級建築士番号」
一級建築士資格を保有していない方は「J」+ JIA会員番号

パスワード

ログイン

※JIA・APEC両制度に参加されている方のパスワードについて

JIA CPD事務局

JIA会員の方でAPECアーキテクト及びAPECエンジニア資格をお持ちの方はパスワードにAPEXのパスワードが適用されています。
ユーザーIDは一級建築士番号
パスワードにAPEXのパスワード
を入力してログインを行って頂けますようお願い申し上げます。

使用方法・マニュアル

Q. CPD 情報システムの操作マニュアルを確認したい。

A. 下記のサイトをご参照ください。

使用方法・操作マニュアルに関する URL :

https://www.jaeic.or.jp/navi_cpd/kcpd/cpd_member.html#cmsa

(公益財団法人 建築技術教育普及センター)

下記の事項を確認いただけます。

- ・認定プログラム一覧を見るには
- ・取得単位数を確認するには
- ・メールアドレスを登録・変更するには
- ・ログインパスワードを忘れたとき
- ・ログインパスワードを変更するには
- ・自己申請するには
- ・自己申請内容を修正・削除するには

CPD 情報システム 操作マニュアル

- [認定プログラム一覧を見るには](#) (PDF版・440KB)
- [取得単位数を確認するには](#) (PDF版・781 KB)
- [メールアドレスを登録・変更するには](#) (PDF版・375KB)
- [ログインパスワードを忘れたとき](#) (PDF版・167KB)
- [ログインパスワードを変更するには](#) (PDF版・350KB)
- [自己申請するには](#) (PDF版・755KB)
- [自己申請内容を修正・削除するには](#) (PDF版・513KB)

CPD情報システムについて

CPD情報システムは、建築CPD情報提供制度参加者、APECエンジニア(建築構造技術者)登録者、APECアーキテクト登録者及び建築設備士関係団体CPD協議会参加登録者の方の利用が可能です。

このシステムを活用することにより、ユーザーIDとパスワードを入力すれば、いつでも自己のCPD記録を入力することができます。

また、認定プログラムに出席した際に設置されている出席者名簿にユーザーIDと氏名(カナ)を記載することにより、認定プログラムに出席したCPD記録は、認定プログラム主催者から当センターに報告され、自動的にシステムに登録されます。

なお、ユーザーIDとパスワードを入力すれば、取得単位数をいつでも見ることができます。

▶ 使用方法については、[操作マニュアル](#)をご覧ください。

▶ 自己申請の修正又は削除を希望する方は、[こちら](#)をご覧ください。

<上記3制度のうち複数の制度に参加登録している場合>

自己申請については、一度入力することにより、複数の制度に申請したことになり、承認された場合は、複数の制度の単位となります。

また、認定プログラムに出席した際に名簿にユーザーIDと氏名(カナ)を記載することにより、複数の制度の単位となります。

◀ (社)日本建築家協会及び都道府県建築士会とのCPDシステム共同運営について ▶

現在、(公財)建築技術教育普及センター、(社)日本建築家協会及び都道府県建築士会はCPD情報システムを共同運営しております。

CPD情報システムでは、認定プログラムの出席者データが共有化されますので、お互いの認定プログラムに出席して得た実績が自動的に登録されます。

なお、自己申請については、(社)日本建築家協会と重複参加している場合は、申請時に両制度に同時申請されます。

ただし、審査認定については、それぞれの団体で行いますので、認定結果が異なる場合があります。都道府県士会と重複参加している場合は、都道府県士会へ別途申請する必要があります。

▶ [CPD情報システムへ](#)

コンテンツの入力方法

自己学習型 専門書誌等購読

Q. 当協会会誌「建築設備士」の購読はどのように入力すればいいのですか。

A. 当協会会誌「建築設備士」につきましては、購読した号ごとに修得内容欄に設問(会誌巻末)の回答をいただくか、またはレポート(180～200 字)をご記入ください。

(入力例)

プログラム名：会誌購読「建築設備士」200X. X 月号

主 催：(社) 建築設備技術者協会

内 容：設問回答：Q1. 1、Q2. 3、Q3. 1 または レポート：(180～200 字)

修得内容： 同 上

▼ 自己申請基本情報入力

*印の項目は必ず記入のこと。

申請年月日	2012年9月14日	ユーザーID	
申請先制度	[建築設備士][日本建築家協会]		
氏名			
* 研修年月日	2012 年 07 月 02 日 18 : 00 ~ 2012 年 07 月 02 日 20 : 00 迄		
* 形態	[14] 専門書誌等購読 該当するものを選択してください。その際は、[XX]で始まる説明を選択します。 ☐ 企業内研修会である ☒ 企業内研修会ではない		
* 分野	[10] 全般 該当するものを選択してください。その際は、[XX]で始まる説明を選択します。		

自己申請内容

申請するプログラムの形態によって記入欄に記入する内容が異なります。 記入する際の注意事項

* プログラム名	会誌購読「建築設備士」200X. X月号
主催	(社)建築設備技術者協会
* 内容 (200文字以内)	設問回答：Q1. 1、Q2. 3、Q3. 1
* 修得した内容 (200文字以内)	同上
* 研修時間	2 .0 時間

審査の過程でプログラム実施を証明する書類の提出を求める場合がありますので、講習会受講証、シンポジウム参加証や論文の写し等は保管しておくようにしてください。

キャンセル

次へ

申請を終了し、トップページへ戻ります。

自己学習型 専門書誌等購読

Q. 他団体の機関誌の購読等はどうように入力すればいいのですか。

A. 他団体の機関誌等につきましては、購読した号ごとにご入力下さい。また、各号について内容および修得内容(180～200 字)をご記入下さい。

(入力例)

プログラム名：機関誌「〇〇〇設備」. X 月号

主 催：(公社) 〇〇〇学会

内 容：特集「建築設備と環境」

修得内容：建物の設計施工時における省エネ・省資源・環境配慮・長寿社会対応など、環境対応への技術、手法を学習した。環境問題やエネルギー問題などに対応したこれからの建築や建築設備のあり方について根本から理解しやすい構成となっており、これからの技術開発の進むべき方向を視野に収めながら、実務上のキーワードにより易しく解説されて、設計施工時の環境共生技術がよく理解できた。

▼ 自己申請基本情報入力

*印の項目は必ず記入のこと。

申請年月日	2012年9月14日	ユーザーID	
申請先制度	[建築設備士][日本建築家協会]		
氏名			
* 研修年月日	2012 年 07 月 23 日 20 : 00 ~ 2012 年 07 月 23 日 21 : 00迄		
* 形態	L [14] 専門書誌等購読 該当するものを選択してください。その際は、[XX]で始まる説明を選択します。 ☐ 企業内研修会である ☒ 企業内研修会ではない		
* 分野	L [10] 全般 該当するものを選択してください。その際は、[XX]で始まる説明を選択します。		

自己申請内容

申請するプログラムの形態によって記入欄に記入する内容が異なります。

記入する際の注意事項

* プログラム名	機関誌「〇〇〇設備」. X月号
主催	(社)△△△△△学会
* 内容 (200文字以内)	特集「建築設備と環境」
* 修得した内容 (200文字以内)	建物の設計施工時における省エネ・省資源・環境配慮・長寿社会対応など、環境対応への技術、手法を学習した。環境問題やエネルギー問題などに対応したこれからの建築や建築設備のあり方について根本から理解しやすい構成となっており、これからの技術開発の進むべき方
* 研修時間	1 .0 時間

審査の過程でプログラム実施を証明する書類の提出を求める場合がありますので、講習会受講証、シンポジウム参加証や論文の写し等は保管しておくようにしてください。

キャンセル

次へ

申請を終了し、トップページへ戻ります。

- 4 -

参加学習型 講習会・見学会

Q. 講習会や見学会はどのように入力すればいいのですか。

A. 講習会や見学会につきましては、**参加された会ごとにご入力下さい。**まとめて入力されますと、単位認定されない場合がございます。また、内容、修得内容(180～200 字)をご記入下さい。

なお、「認定プログラム」以外の講習会・見学会についてのみ入力をお願いいたします。「認定プログラム」は、出席者名簿にID等を記入することで、登録されます(本紙 9 頁「認定プログラム」参照)。

(入力例)

プログラム名：講習会「医療建築の最新技術と事例」
主 催：(社) △△△△△学会 ○○支部
内 容：地域医療で核となる病院の建て替えが活発化するなかで、社会環境からの要請に対応すべくさまざまな設備が導入されている。地震などの災害に対する事業継続計画、IT 化、医療関連感染、低炭素社会に向けた省エネ、空調設備やBCP・防災対策など、医療建築における設備の最新動向と建築設備の実際について学ぶ。
修得内容：本講習は、病院の建築設備の最新技術の動向と事例を学ぶ内容となっていた。特に、医療業務の継続を目的として建物自体の安全性を高め、上下水道や電気などのインフラ復旧まで自立できるように計画された××××病院の事例は、災害に応じた段階的な機能維持システムの提案であり、非常に興味深かった。

自己申請基本情報入力

*印の項目は必ず記入のこと。

申請年月日	2012年9月14日	ユーザーID	
申請先制度	[建築設備士][日本建築家協会]		
氏名			
* 研修年月日	2012 年 08 月 31 日 10 : 00 ~ 2012 年 08 月 31 日 16 : 00 迄		
* 形態	L [07] 講習会 該当するものを選択してください。その際は、[X]でもまる説明を選択します。 ☐ 企業内研修会である ☒ 企業内研修会ではない		
* 分野	L [10] 全般 該当するものを選択してください。その際は、[X]でもまる説明を選択します。		

自己申請内容

申請するプログラムの形態によって記入欄に記入する内容が異なります。

記入する際の注意事項

* プログラム名	講習会「医療建築の最新技術と事例」
主催	(社)△△△△△学会 ○○支部
* 内容 (200文字以内)	地域医療で核となる病院の建て替えが活発化するなかで、社会環境からの要請に対応すべくさまざまな設備が導入されている。地震などの災害に対する事業継続計画、IT化、医療関連感染、低炭素社会に向けた省エネ、空調設備やBCP・防災対策など、医療建築における設備
* 修得した内容 (200文字以内)	本講習は、病院の建築設備の最新技術の動向と事例を学ぶ内容となっていた。特に、医療業務の継続を目的として建物自体の安全性を高め、上下水道や電気などのインフラ復旧まで自立できるように計画された××××病院の事例は、災害に応じた段階的な機能維持システムの提
* 研修時間	5 .0 時間

審査の過程でプログラム実施を証明する書類の提出を求める場合がありますので、講習会受講証、シンポジウム参加証や論文の写し等は保管しておくようにしてください。

キャンセル

次へ

申請を終了し、トップページへ戻ります。

- 5 -

情報提供型 委員会

Q. 委員会活動はどのように入力すればいいのですか。

A. 委員会活動につきましては、出席された会ごとにご入力下さい。まとめて入力されますと、単位認定されない場合がございます。

(入力例)

プログラム名：委員会「平成○年度 第X回○×運営委員会」

主 催：(社)○○○○学会 ××支部

内 容：○○についての協議、対応。

修得内容： 同 上

自己申請基本情報入力

*印の項目は必ず記入のこと。

申請年月日	2012年9月14日	ユーザーID	
申請先制度	[建築設備士][日本建築家協会]		
氏名			
* 研修年月日	2012 年 06 月 11 日 13 : 00 ~ 2012 年 06 月 11 日 15 : 00迄		
* 形態	[12] 委員会 該当するものを選択してください。その際は、[××]で始まる説明を選択します。 ☐ 企業内研修会である ☒ 企業内研修会ではない		
* 分野	[11] その他 該当するものを選択してください。その際は、[××]で始まる説明を選択します。		

自己申請内容

申請するプログラムの形態によって記入欄に記入する内容が異なります。 記入する際の注意事項

* プログラム名	委員会「平成○年度 第X回○×運営委員会」
主催	(社)△△△△△学会 ○○支部
* 内容 (200文字以内)	○○についての協議、対応。
* 修得した内容 (200文字以内)	同上
* 研修時間	2 .0 時間

審査の過程でプログラム実施を証明する書類の提出を求める場合がありますので、講習会受講証、シンポジウム参加証や論文の写し等)は保管しておくようにしてください。

キャンセル

次へ

申請を終了し、トップページへ戻ります。

情報提供型 講師

Q. 講師はどのように入力すればいいのですか。

A. 講師につきましては、講師を担当された会ごとにご入力下さい。まとめて入力されますと、単位認定されない場合がございます。また、内容および修得内容(180～200 字)をご記入下さい。

(入力例)

プログラム名：講習会「建築設備技術者のための講習会」

主 催：(社) ○○○学会

内 容：建築設備士をはじめとする建築設備技術者や建築士を対象とし、建築設備の新技术の動向および導入事例、建築設備関連法規、建築設備に関する事故例と対策などを、分野ごとに講義を行う。

修得内容：空調設備分野の講義を担当し、環境配慮型空調設備の設計、顕熱、潜熱分離空調、エネルギーシミュレーションの最前線、先端設計技術など、空調設備の新技术と事例について解説した。

▼ 自己申請基本情報入力			
*印の項目は必ず記入のこと。			
申請年月日	2012年9月14日	ユーザーID	
申請先制度	[建築設備士][日本建築家協会]		
氏名			
* 研修年月日	2012 年 05 月 28 日 09 : 30 ~ 2012 年 05 月 28 日 16 : 30 迄		
* 形態	L [10] 講師 該当するものを選択してください。 その際は、[×]で始まる説明を選択します。 ☐ 企業内研修会である ☒ 企業内研修会ではない		
* 分野	L [10] 全般 該当するものを選択してください。 その際は、[×]で始まる説明を選択します。		
自己申請内容			
申請するプログラムの形態によって記入欄に記入する内容が異なります。			記入する際の注意事項
* プログラム名	講習会「建築設備技術者のための講習会」		
主催	(社)○○○学会		
* 内容 (200文字以内)	建築設備士をはじめとする建築設備技術者や建築士を対象とし、建築設備の新技术の動向および導入事例、建築設備関連法規、建築設備に関する事故例と対策などを、分野ごとに講義を行う。		
* 修得した内容 (200文字以内)	空調設備分野の講義を担当し、環境配慮型空調設備の設計、顕熱、潜熱分離空調、エネルギーシミュレーションの最前線、先端設計技術など、空調設備の新技术と事例について解説した。		
* 研修時間	6 . 0 時間		
審査の過程でプログラム実施を証明する書類の提出を求められる場合がありますので、講習会受講証、シンポジウム参加証や論文の写し等は保管しておくようにしてください。			
キャンセル 次へ			
申請を終了し、トップページへ戻ります。			

認定プログラム

Q. 認定プログラムを受講した場合の実績申請はどのようにすればいいですか。

A. 認定プログラムについては、講習会等開催時に受付に設置されている「出席者名簿」に『CPD ID』および『氏名(カタカナ)』をご記入頂くことで登録されます。CPD情報システムによる自己申請の必要はありません。

(出席者名簿へのご記入がない場合、またはユーザーID等に誤りがある場合には登録されませんのでご注意ください)。

単位・実績証明書

Q. JABMEE CPD の取得単位数を知りたいのですが、どこで確認できますか。

A. 「CPD情報システム」にログイン後、参加制度別取得単位「建築設備技術者協会(JABMEE CPD)」欄にてご確認ください。

参加制度別取得単位

実施期間 2012 ▼ 年 04 ▼ 月 01 ▼ 日 ~ 2015 ▼ 年 03 ▼ 月 31 ▼ 日迄
 確認する

取得時間数の表示は、上段は承認されたプログラム、下段()内は審査待ちのプログラムとなっています。

■ 建築設備士CPD協議会 単位 [360.5](1)

■ 建築CPD情報提供制度 単位 [20](0)

■ 建築設備技術者協会 (JABMEE CPD) 単位 [366](1)

形態別取得単位

総合講習	参加学習型	情報提供型	自己学習型
14 (0)	57 (0)	260 (0)	35 (1)

分野別取得単位

倫理・法令分野	設計・監理分野		施工管理分野	マネジメント分野	関連分野
	設備系	その他			
16 (0)	334 (1)	3.5 (0)	5 (0)	2 (0)	0 (0)

「分野別取得単位」の表示については、上限は設けていません。

「形態別取得単位」「分野別取得単位」の表示については、平成27年4月より適用される新制度の表示です。現行制度での取得単位については、下記までお問い合わせください。

(一社)建築設備技術者協会 03-5408-0063 info@jabmee.or.jp

このページのトップへ▲

Q. CPD の実績証明書の発行手続きについて知りたい。

A. CPD 実績証明書は、CPD 制度(下記)により、内容および発行元等が異なります。証明書の活用先(行政機関等)にご確認のうえ、各発行元に発行手続きを行ってください。

■建築 CPD 情報提供制度(建築設備士 CPD 協議会制度を含む)

対 象: 建築 CPD 情報提供制度に参加している建築士、建築設備士、建築施工管理技士

発行元: 建築 CPD 運営会議

対象内容: 認定プログラムのみ

手続き: 所定の申請書にて申請ください。詳細については、発行元までお問い合わせください。

費 用: 一名につき 515 円(消費税込)

発 行
公益財団法人 建築技術教育普及センター
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-6 紀尾井町パークビル
電話 03-6261-3310

■JABMEE CPD 制度

対 象: JABMEE CPD 参加者全て

発行元: (一社)建築設備技術者協会

対象内容: 認定プログラムおよび自己申請

手続き: 所定の申請書(協会ホームページよりダウンロードできます。)にて申請ください。

費 用: 協会会員 一通につき 500 円(消費税込)

協会会員外 一通につき 1,000 円(消費税込)

発 行
一般社団法人 建築設備技術者協会(JABMEE)
東京都港区赤坂 2-21-3 レドンドビル 5F
電話 03-5408-0063 info@jabmee.or.jp

以上